

平成 31 年 4 月定例記者会見要旨

開催日時 平成 31 年 4 月 22 日（月）午後 3 時 市長応接室

（市長あいさつ）

みなさんこんにちは。市長選に際しては多岐に渡り取材をいただきありがとうございます。市長 2 期目の当選ということで先ほど当選証書をいただいて参りました。昨日の市議選投開票を本日まで取材等々お疲れ様でした。ご協力いただきありがとうございました。

（5 月の日程説明等）

○ 5 月 7 日（火）

午前 8 時 20 分	金子市長 初登庁	庁舎正面玄関前
午前 9 時	金子市長 就任式	大会議室
午前 9 時 30 分	金子市長 就任記者会見	市長応接室
午前 10 時 30 分	部課長会議	大会議室

○ 市議会議員・市理事者・部局長顔合わせ会

5 月 8 日（水） 午後 1 時 30 分 大会議室

- 霧ヶ峰開山祭 5 月 23 日（木） 午前 9 時 30 分 霧ヶ峰強清水
- 上水道記念式 5 月 25 日（土） 午後 1 時 茶臼山配水地
- 春の全市一斉清掃 5 月 26 日（日） 午前 6 時 諏訪湖畔ほか
- 第 50 回高島城祭 5 月 26 日（日） 午前 9 時 30 分 高島公園

○ 教育委員会関係 5 月の行事予定

○ 生涯学習課関係パンフレット 3 種類

記者との質疑応答

○市議会議員選挙の結果について

（記者）昨日、市議選の投開票が行われ、今回の選挙で議員の顔ぶれがだいぶ変わる。特に女性が 5 人で過去最高の人数になり全体の 3 分の 1 を占める。女性市長として今回のこの結果のけん引役になったのか受け止めを聞きたい。

（市長）市民のバランスからみて半分は女性なので、今より更に女性の議員が増えて欲しいという世の中の趨勢があると思います。それに向かって諏訪市議会も改選期を経て前回よりも女性議員の数が増えたことは、時代の要請に呼応しているということは、私としても好意的に受け止めたいと思います。女性の立場あるいは女性の感性をより具体的にアピールされることになろうかと思っております。

(記者) ご自身が首長であることが影響しているかどうかについてはいかがか。

(市長) とかく政治の世界は、いまだ全般的には男性主導と見られています。世界を見ても数字上そのように出ていますが、女性首長ということが、そうした意味で皆さんに勇気を与えたということは、私の口から言うことではなく皆さんの判断としてそう評価されるということがあるとすれば、私とすれば好ましく、評価していただけたのではないかと受け止めたいと思います。女性の皆さんが、私だったからどうかは別として、首長を女性がやっているのが手が挙げやすく背中を押すということがあることも否定はできないと思います。女性の皆さんが議場に入ってもらい、女性議員を増やす会の活動があり、それに諏訪市議会は議場を開放して協力をされました。あの取り組みは諏訪市議会のご努力の成果であり、主体的に活動された会の皆さんはもとより、その参加者の中から今回の市議選に立候補された女性が増えたということですから、そこを評価することがまず、第一かと思っています。

○改元に伴うイベントについて

(記者) 5月1日に婚姻届を出しにくる方が多くいると思うが、特別な対応をすることはないか。

(総務部長) 5月1日は令和元年と大安が重なり特異な日になります。諏訪市の場合は婚姻届を事前に受付しチェックした上で、当日提出いただいています。今現在はそれほど多くは受け付けていない様子ですが、ただ特異日であるので日直の職員に市民課の職員を充てるなど対応を行っています。

(記者) 婚姻届を出す人は通常の日直へ出し、特別な窓口を設けたりはしないのか。

(総務部長) 特段する予定はないと思います。

(記者) 茅野市は元々撮影用のボードがあるようだが。

(市長) 諏訪市もあります。

(総務部長) 婚姻証明の時に記念撮影用のバックパネルが市民課に用意されています。

(記者) 諏訪市の対応は2名体制か。

(総務部長) 日直は2名体制です。

(記者) 令和元年にあたり市及び市に関連するイベント等はあるのか。

(市長) 天皇の退位、即位に対しては国旗の掲揚を予定しています。

○茅野市火災の出動について

(記者) 諏訪広域連合長の立場として、一昨日に茅野市塚原であった火災に広域消防で対応したと思うが、大規模になってしまったことについて、消火体制に課題があったのか、あったとすればどのようなことか連合長の受け止めは。

(市長) 当日は早朝から火災が茅野市の北部分署管内で発生し、その2時間後に塚原で火災、蓼科高原チェルトの森でもその他火災があり、3つの火災が重なりました。ルールに従って出動体制を取ったわけですが、それに加えて高度救急の搬送の要請もあったということです。被災された皆さんに心からお見舞いを申し上げますとともに、御一方が亡くなっておられます。心からご冥福をお祈り申し上げます。このような重複する火災に対してなお改善点があるかどうか各署に消防長から検討するよう指示が出ています。そうした研究を現場でして、そして今後更に改善点があるならば、消防力の向上として取り組んでいくべきと思っています。現状では、いま検証中なのでこれ以上は申し上げることができませんが、塚原の火災は大きかったが死傷者が出なかったことがせめてもの救いだっと思いますが、それにしても3ヶ所で同時に火災が発生したことにより怪我をされた方、亡くなった方がおられますので、この結果をしっかりと受け止めて今後活かしていきたいと思っています。

(記者) 重複した火災の出動手順、ルールに従って対応したが、何か改善点がないか消防長から各署に指示が出るので、それを検証していくことでよいか。

(市長) 今回のことを検証しつつ課題を整理するということだと思います。出動計画があり、現場に近いところから出動指令が出るので、北山が早朝5時半過ぎに近いところから3署、2分署で5つの部隊から出動しています。高度救急の出動が1署あったところに、7時30分に塚原の火災入電があって、その時点では2つの署に出動をかけ、更に非常配備指令ということで職員に非常時の体制を執る指令が同時に出ています。そのように出動計画に則って出動していたという状況です。火災3ヶ所と高度救急の対応をしていたという状況でした。

(記者) 高度救急は火災とは別のものか。

(市長) 救命です。

(記者) 3署とは茅野市の3署のことか。

(市長) 茅野市、原村、諏訪市の3署と茅野北部と茅野西部の2分署で計5つです。

(記者) その後は富士見町と下諏訪町が出動したのか。

(市長) その後、下諏訪町が高度救急で出て、諏訪市でも救急救命の出動がありました。そして、出動できる富士見町と岡谷市から塚原の火災に出動しています。

(記者) あの火災は7時30分に広域消防本部からメールが入り、10分後に非常招集のメールが入った。その時点で広範囲に燃え広がっていたのか、風が強くて燃え広がる可能性があったのか、その辺のところは。普段火災は、余程の火災でも非常招集がかかることはあまりないと感じているが。

(市長) 塚原は火災と同時に非常配備指令が出されています。岡谷と富士見以外は出動していたので状況により判断したと思います。詳細は、消防長に確認いただきたい。

○副市長人事について

(記者) 次の関心事は副市長の人事になると思うが、日程を見ると副市長就任式が5月30日になっている。いつ頃までに考えをまとめるのか。

(市長) 議案の調整等もあるので、なるべく早いうちに考えをまとめたいと思います。私の就任が5月1日で、それ以降、新体制発表までの準備段階になりますが、大事な案件なのでご相談しながら決めていきたいと思います。